社会福祉法人 種の会　アルテ子どもと木幼保園
〒164-0001　中野区中野 1-59-5
Tel 03-3365-0602
ホームページ URL http://www.tanenokai.jp/

えんだより 2023

ArteKodomotoKi

お知らせ

・給食の食材発注数管理のため、夏休みの予定（7 月～9 月）が決まりましたら担任にお知らせください。職員も交代でお休みをとりますのでご協力をお願い致します。

・水遊び・プール遊びが始まります。各クラスで掲示しているお知らせをよく読んで忘れ物のないようにお願い致します。

・12 日にプール開きを行います。プール遊び実施期間中はサーキット運動と音楽遊びはお休みになります。

July 7 2023						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
						1
2	3 音楽あそび	4	5 運動あそび	6 発育測定	7 七夕	8
9	10 音楽あそび	11	12 プール開き 0歳児健診	13	14	15
16	17 海の日	18	19 0歳児健診	20 避難訓練	21	22
23	24	25	26	27 誕生会	28	29
30	31					

「小さなケンカはたくさんしてもいい」と考えていますが、「叩いたほうも、叩かれたほうも、自分の言い分を言う」ことで、話す力・聞く力、人の話を聞いて考える、対話で解決しようとする力が身につくと思います。子ども達がお互いの気持ちを話しているときに、保育士の考えや正解のようなことは言いません。子ども自身が相手のことを考えることで、幼少期から「共感する力」が身につくと考えています。

つぼみ先生（戸塚陽子）

ＮＨＫ Ｅテレ「すくすく子育て」より

『まあるいいのち』作詞･作曲イルカ

まあるいいのち

♪みんな同じ 生きているから
♪一人にひとつずつ 大切な命
「みんなの命のかたちは？」
一人ひとりが それぞれ
いろんな形の命を持っている

ＨＮＫ取材へのご協力ありがとうございました。
乳幼児期だからこそ柔軟な発想でものごとをとらえて、戦争という難しい話題も子どもなりに考え、思ったことや感じたことを発言する姿がありました。
日々の暮らしを通して命の大切さを知り、お互いの違いを認めながら、人として尊重し合うことを大人も子どもも学んでいけたらと思っています。

園長　山田寿江

幸せって？　～しなやかに生きる～

保育園･幼稚園、小･中学校の先生が参加する協議会で、自己肯定感と自尊心について話し合いました。どの園でも、子どもが自分で考えて、気持ちを伝えることを大切にしており、学校教育へつながっていると感じました。興味･関心の違う生徒３０人以上が集うスタートカリキュラムの１年生の授業は、一方的に教わるのではなく、友だちとやりとりしながら学ぶスタイルでした。話を聞いてもらう経験が安心感や信頼感を生み、人の話を聞く力にもなります。**子どもは仲間の中で育つ**ということも共有できました。小学校の先生が、「人を思いやれる子は何においても優れている」と仰っていたのが心に残りました。日本は「強い」ことが評価されがちですが、「弱い」からこそ知恵を得、人に頼るという価値が見直されています。人との関係がしなやかになることは豊かさつながります。廊下で高学年の生徒とすれ違いました。友と肩を並べ歩く卒園児の姿に成長を感じ、嬉しい日となりました。

やさしい心をありがとう
失敗したって　大丈夫
誰とくらべることもない
かけがえのない大切なきみ
そっと　見守っているよ

Well-being（ウェルビーイング）

「健康」が身体的に良好な状態であるのに対し、「Well-being」は、心身ともに満たされた、身体的・精神的・社会的に良好な状態を表します。一時的にではなく、持続的に良好であることがその特徴で、「Happiness」は精神面での幸せを表しますが、「Well-being」はそれを包み込む大きな概念です。
日本の子ども達の幸福度が低いというデータがあります。諸外国と比べて自己肯定感が低いとのこと。
ニュージーランドでは、小さい頃から「私は誰で、どこから来たのか」を意識する機会が多くあり、原住民や多文化の中で**人としてのアイデンティティ**が大切にされ「お互いの文化や言語を尊重する」ことが必要不可欠と考えられているそうです。
一人ひとりが幸福感や生きがいを感じられる社会を共に学びながら創っていきたいですね。

異なる思いや考えを認める

主任：中村

５さいナノ組さんが変身コーナーで遊んでいた時の事。
片付けの時間になり、落ちていたスカートをハンガーにかけようとした男の子がいました。
しかし
「俺、ハンガーかけるの苦手なんだよね～」と言って、横にいた女の子にパッと渡して、別の所に行ってしまいました。
すると
女の子は「も～」と言いながらも、表情は笑顔で〝しょうがないな～〟というようにどこか嬉しそうに片付けをし、片付けに困っている友達にも声を掛けながら行っていました。
そして男の子は少しすると戻ってきて、女の子の様子を見ていました。

２人のやり取りを見た時、苦手だからといって自分でやらずに誰かに押しつけるのはどうかな？女の子もパッと渡されて、嫌だなと思っていないかな？と思う事があると思います。女の子がどこか嬉しそうにしている様子が見られたのは、人の役に立てた事が嬉しかったのかなと思いました。又、男の子が戻ってきたのは、一方的に押し付けて行ってしまい、友達は嫌だったかなと思って戻ってきたのかなと思いました。

５歳児クラスになってくると、自分の事だけでなく人の役にたつ事が嬉しく誇らしく感じられ、お手伝いや年下のお世話をするようになります。こうした中で相手の心や立場を気遣っていく感受性を持つようになります。又、自分とは異なる身近な人の存在やそれぞれの人の特性や持ち味などに気付いていきます。
相手の思いがわかり受け入れられる関係がしっかり出来ているので、大人は口を出さずに成長を喜んでいければいいですね。

表紙画『プラネタリウム』

主任：黒木

５歳ナノ組　そうすけくん、はるきくん、えるびんくん、けいとくん
７月の表紙の絵はプラネタリウムから帰って来たばかりの５歳さん４人が夜空の絵を共同制作しました。様々な大きさの星やブラックホール、星座の線、流れ星など観てきたものを思い出しながらどんどん筆が動きました。
「あれ？この三角なあに？お山なの？富士山なの？」
「……ねぇ！君たち、ちゃんとプラネタリウムで話きいてたの？これはね、夏の大三角形だよっ！！」
プラネタリウムでは、短い時間の中にたくさんの情報がありましたが、しっかり話しを聞いて吸収して帰って来たんだなと感心しました。

※今月の表紙の写真は一然先生が撮ったナイスショットです。アトリエで OHP を使って光遊びをしている４歳児のグループです。様々な素材を映し出し公園を表現しているそうです。

Atoo

大雨警報が発令され、予報通り大粒の雨が降った日のことです。外は薄暗くなり、雨は保育室の窓を叩きつけるように激しく降り続きました。
K さんは、そんな様子に惹きつけられるように窓辺に近づき外を眺めていました。K さんは、保育者が自分に注目していることに気づくと、「ほら、見て」というように指をさして教えてくれました。そして、手に持っていた玩具のコップを窓に向けて、まるで雨の雫をコップに溜めるような仕草を始めました。雨に向かって小さな K さんが小さなコップを掲げる姿に、0 歳児ならではの何ともいえないかわいらしさを感じて、ほっこりした気持ちになりました。

天候が不安定なこともあるのか、子ども達が体調を崩して休みがちな日が続きました。少人数で過ごす日も多く、寂しい半面、普段以上に一人ひとりの子どもとじっくり向き合える時間にもなりました。トンネルを出すと興味津々で潜ったり、支えてもらいながら木馬に揺られたり。寝返りが自由自在にできるようになり上体を起こせるようになった Y さんは、スズランテープを捕まえようと懸命に手を伸ばして前に進もうとしていました。
子ども達の日ごとに成長する姿は頼もしく、保育者もパワーをもらう毎日です。

At01

おおきくな～れ！

園庭で野菜を育てています。種類はパプリカ（赤と黄色）、ピーマン、トマト。土が入った袋を見ると自分達で持ち上げようと手を添えていました。袋はびくともせず保育者と一緒に土を運びましたが、諦めない姿が頼もしかったです。次に、底石を敷いたプランターにスコップで土を入れました。３つのプランターを並べ順番に土を入れていると、隣のプランターでは底石と土を混ぜて遊ぶ姿が……。水やりではジョウロが重くて落としそうになる事もありました。子ども達の姿が微笑ましく、和やかな雰囲気の中で苗を植えました。数日が過ぎピーマンが一つ育っているのを発見。「ピーマン」と嬉しそうにつぶやきながら、代わるがわるピーマンに触っていました。梅雨を乗り越え、子ども達と野菜が元気に育ちますように！

カエルさん、元気でね～

５月に紅葉山公園の池で大量のオタマジャクシを見つけました。「お魚～」と声をあげる姿が初々しく、オタマジャクシの成長を見届けるチャンス！と次の散歩を楽しみにしていました。後日、意気揚々と池に行きましたがあんなにいたオタマジャクシが全く見当たりません。どこに行ったのでしょう……数日が過ぎ６月になりました。“ピョーン”紅葉山公園の広場にカエルが登場！「どこどこ～」と賑やかになり、嬉しすぎてカエルを保育園に連れて帰りました。その日の夕方、保護者のＹさんがアマガエルだと教えて下さいました。どうやら室内で育てるのは難しそうです。翌朝、お集まりでカエルを公園にかえすことを子ども達に話して、すぐに紅葉山公園に向かいました。「カエルさんバイバイ～」カエルに手を振る姿にほっこり。カエルのおかげで貴重な体験ができました。また来年もたくさんのオタマジャクシに会えるといいですね。

Pico2

～想像を形に～

室内でクレヨンを使って遊んでいた時のこと。Ｋ君が「これで描くー！！」とクレヨンを手に取って紙に描いて遊んでいました。最初は線を描いて楽しんでいたＫ君。次第に「これが、にーにでね、これがママとパパなの！！」と話しをしながら描き始めました。それを隣でお絵描きしながら聞いていたＭさんとＩさん、Ａさん。Ｍさんは「これはディズニーランドにいた、ミニーちゃんなんだ！可愛かったんだ」と話してくれたり、ＩさんとＡさんも「これはね、Ｉちゃんの顔なんだよ！」「ＡもねＡとママ描いてるんだよ！」と二人で話しながら楽しそうに紙に絵を描いて遊び始めました。

友達が遊びながら言った言葉をきっかけに他の友達にも伝播して、自分が経験した出来事や自分の身近な人の事などをイメージし、描いて形にしており、それを誰かに伝えるという姿を見て成長を感じました。

～雨の日～

ある雨の降った日、部屋の中で新聞紙遊びを行いました。新聞紙をビリビリに破いたり、破いた新聞紙を丸めてボールにして遊んだり、新聞紙同士を長くつなげて遊んだりしました……新聞紙でたくさん遊んだ後には、みんなで一つの袋の中に新聞紙を入れて、てるてるぼうずを作りました。

数日後、それぞれのてるてるぼうずを作ることに。Ｔ君は「これはてるてるぼうずのおへそでね……これはボタンでここにつけるの」と話しながらてるてるぼうずの洋服にカラフルなシールを貼っていきました。最初は自分のてるてるぼうずの洋服に「これはここに貼るんだ！！」とシールを重ねて作っていたＫ君もとなりで話しながらてるてるぼうずの洋服を作っているＴ君の様子を見て「これを貼ったら？」「これは？」とＴ君に話しかけていました。話しかけられたＴ君も「これはこっちに貼る」「これは貼らない」と会話しながら二人での制作の時間を楽しんでおり、友達同士で互いに刺激し合いながら関わりが持てたのだと感じます。

Nano3

「おえかき？雨ふってるよ～楽しい！！」

・雨水を使ったにじみ絵

テラスに出て、雨を見ながらお絵描き♪和紙にカラーペンを使って絵を描きました。「わ～楽しいね～」と思いを言葉にしながら描く姿も見られます。雨を何度も確認しながら描いていたMさんの絵を見てみると……たくさんの点々が描かれていました。「この点々が雪で、ここには蝶々がいるの」と教えてくれます。雨とは別の絵を描いている子もいれば、自分のいる場所や見ている物と関連している絵を描く子もいて、絵の内容は様々です。絵が完成したら筆を使って水をつけていきます。筆を振って絵の上に水を落としたり絵の上をなぞったりして、絵がにじんでいく様子を感じます。「色が変わったよ！」と水によって色が変化した（濃くなる・蛍光色になる）様子も発見しました。

あ、水が入っているよ！

雨水が溜まっているボウルを見つけた子ども達。いっぱいの量にしたくていくつものボウルに溜まっている水を合わせていきます。Ｙさんは集めた水が友達に見つからないよう、せっせと奥まで運んでいき、料理を始めました。手早くスプーンですくった具を入れ、ふりかけをかけます。するといきなり動きがゆっくりに変わり、こぼれないように混ぜ合わせていくのでした。早くするところは早く、ゆっくり丁寧にやるところはゆっくりと。『早いとゆっくり』の使い分けをしている姿を見て、料理しているママやパパの姿を見て真似ているのか？早く混ぜるとこぼれてしまうことをどこかで経験したからなのか？今度Ｙさんに聞いてみたいと思います。

Nano4

雨の多い季節ですね

この季節は、活動予定が散歩から室内遊びに変更になる事がしばしば。そんな時でも子ども達は、それぞれ好きな遊びを見つけて楽しく過ごしています。カプラ、ライトテーブル、ブロック、ままごとなど。そして体を動かしたい子どもはホールでリレーやボール、風船遊びをしています。ある時、保育者がビニール袋でボールを作りました。ゴムのボールとも風船とも違うボール。Ａくんは、このビニールボールを見たとたん、「先生、ラグビーしよう！」と保育者を誘いました。すると他の子ども達も「入れて！」といって仲間に加わり、ラグビーごっこが始まりました。ラグビーのルールは分からないのですが、ビニールボールを抱えて走ったり、仲間に投げたり、キャッチしたり、汗びっしょりになりながら、楽しそうにボールを追いかけていました。ひとつのビニールボールから遊びを生み出したＡくん。発想がおもしろいですね！

「先生に野菜カレー作ってあげる！」

梅雨の晴れ間がのぞく午後、みんなで屋上園庭に行きました。Ｂさん、Ｃくん、Ｄさんは、さっそく砂や土を使ってご飯作りを始めました。保育者が、「何作ってるの？」と尋ねると、Ｃくんが、「野菜カレー。」と答えました。そして、「先生に野菜カレー作ってあげる！オレンジジュース飲んで待ってて。」と砂の入ったプラスチックのカップを渡してくれました。それから、３人で力を合わせて鍋に砂や土をたくさん入れて、カレー作りを始めました。

Ｂさん「カレーに人参入れるね。先生、野菜カレーに何入れる？」

保育者「そうね。今の季節だとズッキーニとか、パプリカかな。」

Ｃくん「僕、ズッキーニ食べた事あるよ。」

Ｄさん「私、パプリカ食べられる！」そんな会話を交わしているうちに、野菜カレーが完成しました。大皿にこんもり盛られた野菜カレー。お腹いっぱいになるまで食べました。

ごちそうさまでした！

もうすぐ太陽カンカン照りの季節がやって来ます。真夏の季節に子ども達がどんな遊びを展開するか、とっても楽しみです！

Nano5

あじさい

雨の日に絵の具であそびました。長い紙にみんなで描きます。
はじめは筆を使って好きな色を選んでいたのが、次第に手で描いたり色を混ぜたりしてダイナミックになっていきました。Ｙさんは２種類のあじさいを表現しました。ひとつは筆で描いたもの、もうひとつは指先に絵の具をつけて紙にチョンっと色をのせたもの。「すごいね～いい描き方だね～」と保育者が感心していると、「だってこの前やったも～ん」と返ってきました。先月の園だよりの表紙で紹介したあじさいを描いたＹさん。前回スタンピングした経験が、今回のあそびに繋がっていました。

とある日は、散歩の道中にあじさいを見つけたＳくんが「あじさいは土の水分によってお花の色が変わるんだよ」と教えてくれました。「へぇ～」と、これまた保育者は大感心です。
日々のふとした関わりの中で、子どもの経験や知識に触れ、それがあそびや生活に繋がっていることを感じられた瞬間でした。

「お野菜見に行こう」

６月初頭に植えた野菜が育ってきています。Ａくんは枝豆の小さなさやを見て、「これが赤ちゃん枝豆」「これがお母さん枝豆」と家族に例え、大きくなるのを楽しみにしています。
きゅうりやなすの収穫もしました。野菜の収穫は５歳ナノ組だけが特別に経験できるので、みんな意気揚々と畑に向かうのです。
音楽あそびやサーキットの後に畑に寄って野菜を見るのがルーティーンになっている５歳ナノ組。最近はみんなで野菜に向かって「美味しくなりますように」とお願いしています。とっても可愛いです。

収穫後、Ａくんが「見て～」と持って来たのは色々な形の野菜の写真が載った絵本でした。「さっきのなすはこれかなぁ」「きゅうりはこれだね」と、実際にとれた野菜と見比べていました。
「次のきゅうりはこれだといいね」と、これから出来るであろう野菜にも期待が膨らみます。次の日、Ａくんから「お野菜見に行こう」「お水あげなくていいの？」と提案がありました。自分の手で収穫したことで、野菜への関心が強くなりました。

この絵は、Ａくんが収穫したことを思い出しながら描いたなすときゅうりです。

「 雨の日はいい気もちだよ、だってね 雨の音がするんだもん 」（5歳ナノ組 Ｍさん）

「 季節をたのしむ子ども 」

今年は梅雨入り早々に西日本から東日本の広い範囲で大雨となりました。毎年のことですが、この季節の気温と湿度は本当に辛いものです。大人にとってはそんな天気ですが、果たして子ども達は雨の日は好きなのでしょうか。

「好き、最近お気に入りの傘を買ってもらったから」（5歳Ｓくん）「好きだよ、水たまりでバチャバチャってするのおもしろい」（3歳Ａくん）私の勝手なリサーチでは９割くらいが「好き派」。中には***「お家でいっぱい遊べるから好き～」（3歳Ｙさん）***と理由を教えてくれる子もいました。

そんな中で、子ども達が６月の梅雨のイメージをカタチにしてくれました。そうです誕生会の「ケーキ」です。５歳ナノ組の子ども達６人が６月の誕生会のために作ったケーキの名前は**『いろいろあめふりケーキ』**。

このケーキには子ども達がイメージする６月のアイテムが、まさに『いろいろ』詰め込まれています。『カタツムリ』『アジサイ』『カエル』『雨』そして子ども達の大好きな『水たまり』。

「アイドルみたいなカエルが作れて、嬉しかった」Ｍさん

「アジサイって、こんな小さなお花がいっぱいあるようだから」Ｈくん

「かわいいカタツムリにしようと思って作ったらできた」Ｋさん

子ども達の作るケーキには、もちろん６月の誕生日の子を喜ばせたいという思いと願いが込められています。ですがそれ以上にケーキ全体を染めた青や紫の色、そこについているカエルの優しい笑顔、明るい色のアジサイに描き込まれた細かなカラーペンのタッチ、ケーキの壁をゆっくりと登るカタツムリ達の柔らかなフォルム、キラキラと輝きながら空から落ちてくる雨のしずく、それらの全てに**「雨の日は好き！」**という子ども達の気もちと、梅雨という季節のイメージを目に見えるものにする素晴らしい感性を感じずにはいられませんでした。

『水たまり』をつけたいとアイデアを出したＳくんは***「水たまりは（土台の上に）透明のシートを貼ってその上に青とか塗って、（土台の）緑や茶色と混じらないようにする」***と自分の考えを言葉にして他の５人に提案しました。

このケーキ作りを通して、子ども達は豊かな感受性でこの世界を感じ、それを工夫して表現しようとする豊かな創造力を持っていることを改めて強く感じました。

（文責：一然）

透明なビーズと真っ白い紙粘土を組み合わせて作った『雨』のしずく

透明のシートに青と水色の絵の具で描いた『水たまり』

ほけんだより

～プライベートゾーンについて～

今月からいよいよプールが始まります。
それに合わせてプライベートゾーンについて子どもたちに話をしました。
自分だけの大切なところってどこだろう？水着でかくれるところは自分だけの大事なところ！
いきなり触られたり、ジロジロ見られてイヤな気持ちになったらみんなはどうすればいい？と
子どもたちに問いかけると「見られてイヤですという」「先生に話す」などの答えが返ってきました。
自分のからだを守れるのは自分だけ。「いやだ」「やめて」としっかり相手に伝えられることはとても大切なことです。
子どもたちへ性について話をするのは難しいと感じたり、まだ早いのではと思うこともあるかもしれませんが、まずは自分のからだは大事なんだよというところから少しずつご家庭でも話をして頂けたらと思います。

～プールについて～

下記の症状がある場合はプールに入れません。
とびひなどの皮膚症状がある場合は早めに受診をお願いします。

- 発熱している、前日発熱があった　・ジクついた傷がある　・とびひ
- 下痢をしている　・眼の充血、目やにがある　・咳や鼻水が多い
- 中耳炎　・薬を飲んでいる　・絆創膏を必要とする傷がある
- つぶれてジュクジュクした水いぼ　・ホクナリンテープを貼っている

schedule

発育測定	７月　６日（木）
０歳児健診	７月 12 日（水）
	７月 19 日（水）

７月保健指導「水遊び・プール遊び中のケガ」

Lunch & Snack time

食育だより

７月に入りいよいよ夏本番です！暑い日が続きますが、食欲は落ちていませんか？
食欲が落ちると、体力が消耗して夏バテになることもあります。冷たい麺などが食べやすいですね。たくさんの量を食べられなくても、３つの色（赤・緑・黄）を意識して栄養バランスの良い食事を心掛けましょう。

５歳ナノ組さんから採れたての野菜が届きました。
少しずつになりましたが、初物をみんなでいただきました。アルテの畑でとれた「じゃがいも」「しそ」「きゅうり」。大きなじゃがいもはスライスしてポテトチップスに。まるまると立派なきゅうりは「マヨネーズでたべたいなあ」とリクエストが。アルテ特製マヨネーズソースとともに、おいしくいただきました。しそは「しそジュース」にしてちょっぴり大人の味。自分たちで収穫した喜びと、お友達との関わりが、旬の味覚をさらにおいしくする調味料となりました。

骨や歯をじょうぶに！かみかみおやつ
６月４日 は虫歯予防の日。おやつにカルシウムたっぷりのヨーグルトや煮干しがでました。煮干しは好き嫌いが出るかなと思いましたが、「おさかなおいしい！」「おさかなすき～」の声が聞こえました。「この小さなお魚はいわしなんだよ」と伝えると「へ～」と一言。よく噛んで食べてねと声をかけると白い歯をにっこりとみせてくれました。

アルテの畑からお知らせ
枝豆・スイカ・トマト・きゅうり・なす・しそが、元気よく育っています。

★ 旬の食材 ★

鯵・メロン・トマト・ズッキーニ・とうもろこし・枝豆・おくら・なすきゅうり・スイカ・かぼちゃ

★ ７月の行事食★

7/ 7（金）七夕会
[昼食]七夕そうめん・枝豆入り真砂焼・すいか
7/12・26（火）
[おやつ]とうもろこし
★皮むき体験予定
7/ 14・28（金）
[昼食]夏野菜カレーライス
7/27（金）お誕生日会
[昼食]ロールパン、鯵のインパナート、スローサラダ、コンソメスープ、フルーツ盛り合わせ
[おやつ]お誕生日ケーキ(温室メロン)

アルテ
子どもと木